

次期学長候補者が選考されました

本法人が設置・運営する大学（岩手県立大学、同盛岡短期大学部及び同宮古短期大学部）の学長の任期が平成31年3月末で満了することに伴い、学長選考会議（議長：石堂淳副学長）において次期学長候補者についての選考・審議が行われておりましたが、このほど、鈴木厚人氏が次期学長候補者に選考されましたのでお知らせします。

なお、学長の任命は、学長選考会議の選考に基づき理事長が行います（地方独立行政法人法第71条第5項）。

記

1 次期学長候補者の略歴等

◆ 氏名	鈴木 厚人（すずき あつと）	
◆ 年齢	72歳（昭和21年10月3日生まれ）	
◆ 出身地	新潟県	
◆ 略歴等		
	昭和40年 3月 新潟県立新潟高等学校卒業	
	昭和44年 3月 新潟大学理学部物理学科卒業	
	昭和46年 3月 東北大学大学院理学研究科修士課程修了	
	昭和49年 3月 東北大学大学院理学研究科博士課程修了	
	昭和49年 4月 日本学術振興会奨励研究員	
	昭和49年 11月 高エネルギー物理学研究所（現高エネルギー加速器研究機構）物理研究系助手	
	昭和57年 5月 東京大学理学部物理学科助手	
	昭和63年 2月 高エネルギー物理学研究所物理研究系助教授	
	平成 5年 8月 東北大学大学院理学研究科・理学部教授	
	平成10年 4月 東北大学大学院理学研究科附属ニュートリノ科学研究センター長（～平成18年3月）	
	平成14年 4月 東北大学大学院理学研究科長・理学部長（併任）（～平成17年3月）	
	平成14年 11月 東北大学総長補佐兼任（～平成17年3月）	
	平成17年 4月 東北大学副学長（～平成18年3月）	
	平成18年 4月 高エネルギー加速器研究機構長	
	平成27年 3月 高エネルギー加速器研究機構名誉教授	
	平成27年 4月 公立大学法人岩手県立大学長（現在に至る）	
◆ 学位等	理学博士（東北大学）（専門分野：素粒子物理学）	

2 受賞歴

昭和 63 年	1 月	朝日賞（「超新星 SN1987A からのニュートリノ観測」、カミオカンデ・グループ受賞）
平成元年	1 月	米国天文学会ロッキー賞（「超新星 SN1987A からのニュートリノ・バーストの検出」）
平成 11 年	1 月	朝日賞（「ニュートリノ質量の発見」、スーパーカミオカンデ・グループ受賞）
平成 15 年	11 月	仁科記念賞（「原子炉反電子ニュートリノの消滅の観測」）
平成 17 年	4 月	紫綬褒章（「素粒子物理学における貢献」）
平成 18 年	5 月	日本学士院賞（「反ニュートリノ科学の研究」）
平成 19 年	1 月	ロシア・ポンテコルボ賞（「原子炉反ニュートリノ及び地球反ニュートリノ検出」）
平成 24 年	1 月	ロシア科学アカデミー外国人会員
平成 24 年	1 月	平成基礎科学財団戸塚洋二賞（「液体シンチレータを用いたニュートリノ研究、特に地球反ニュートリノの観測」）
平成 27 年	11 月	米国・ブレイクスルー賞基礎物理学賞（「ニュートリノに質量があることを観測」）

3 次期学長の任期

平成 31 年（2019 年）4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの 4 年

4 選考理由

学長選考会議が規定した「学長選考基準」における資質と能力に関する基準、①学長に相応しい資質、②大学運営に対するビジョン、③大学運営に対するリーダーシップと運営能力、④地域貢献への理解や意欲、について、書面及び面接等で総合的に審査した結果、全ての基準を満たすことが確認されたため、全会一致で 鈴木 厚人 氏を選考した。

5 選考経過等

6 月 4 日	第 1 回選考会議	学長選考の開始を決定
8 月 30 日	第 2 回選考会議	候補者の推薦受付結果の報告、選考基準の決定
9 月 27 日	第 3 回選考会議	書類審査及び面接方法の決定、任期規程改正案の了承
10 月 16 日	第 4 回選考会議	書類審査
11 月 1 日	第 5 回選考会議	面接、学長候補者として選考